

私立大学図書館協会西地区部会東海地区協議会

2004 年度第 3 回常任幹事会議事要録案

日時：2005 年 3 月 18 日（金） 14:00～17:30

場所：南山大学名古屋キャンパス図書館

出席：金城学院大学（鈴木 卓美）、大同工業大学（光永 猛）

中京大学（中河原 省三、村上 康廣）、東海女子大学・東海女子短期大学（児玉 孝乃）

愛知大学（三浦 文博）、名城大学（飼沼 敏雄、丹羽 眞吾、小川 明秀）

南山大学（大森 正樹、栗山 義久、西尾 雅樹）

敬称略

議事に先立ち、理事校南山大学図書館長（大森）より開会の挨拶、および出席者の自己紹介が行われた。慣例により議事の進行は理事校南山大学図書館長（大森）が担当し、下記の議題を協議した。

1. < 報告事項 > [ 第 2 回常任幹事会（12 月 15 日）以降の経過について ]

（1）私立大学図書館協会、西地区部会関係

ア. 第 3 回西地区部会役員会・第 2 回東西合同役員会

理事校南山大学（栗山）より、資料（p.3-11）に基づき、西地区部会役員会について次のとおり報告が行なわれた。

- 1) 2005 年度予算案において各地区協議会への交付金を増額変更すること、また総会・研究会の運営費用を部会当番校交付金からそれぞれ総会費、研究会費に変更することとなった。
- 2) 総会、研究会概要案についても承認され、また館長懇話会についても継続して実施することとなった。なおテーマとなる地域開放に関するアンケートを 4 月頃実施予定であり、ご協力をお願いしたい。
- 3) 地区研究会・研修会等に他地区加盟校からの参加を正式に認めることとなった。開催通知は特に発送せず、適宜、各理事校の判断でメーリングリストやHPなどを活用する。

引き続き資料（p.12-13、17-32）に基づき、東西合同役員会について次のとおり報告が行なわれた。

- 1) 2005 年度の事業計画について例年どおりであり、承認された。また予算については例年に加え、国公立大学図書館協力委員会運営費分担金として国立 500,000 円、私立 500,000 円、公立 250,000 円の割合での負担要請があり、これを含んだ予算案が承認された。
- 2) 次年度において役員校、委員改選期にあたり大幅に構成が変更されるが、資料（p.28-29）のとおりであるとの報告があった。

< 質疑 >

Q：資料 p.28-29 の役員校の任期が明記されていないものについて任期はいつまでか？

A：役員校（会長校・東地区部会・西地区部会） 2 年（2005 / 2006 年度）

協会賞審査委員会・研究助成委員会 2年(2005 / 2006 年度)

国際図書館協力委員会 2年(2005 / 2006 年度)

協会ホームページ委員会 2年(2005 / 2006 年度)

永年勤続表彰制度検討委員会 1年(2005 年度：総会后、解散予定)

#### イ．協会賞審査委員会・研究助成委員会

協会賞審査委員会・研究助成委員会委員金城学院大学（鈴木）より、資料（p.13）に基づき、標記委員会は3月3日に開催され、協会賞については申請のあった2件を受理し、また研究助成については申請1件があったが研究ではなく出版に対する助成申請であることを理由として却下することとし、役員会への提案が行なわれたとの報告がされた。引き続き理事校南山大学（栗山）より第2回東西合同役員会において原案が承認されたとの報告が行なわれた。

#### ウ．国際図書館協力委員会

国際図書館協力委員会委員中京大学（中河原）より、資料（p.14-15）に基づき標記委員会、および図書館協力基金報告会、寄贈資料運搬事業、海外派遣研修等の報告が行なわれた。また例年5月ごろに開催されている国際図書館協力シンポジウムが次年度は秋に延期される旨の補足があった。

#### エ．協会ホームページ委員会

協会ホームページ委員会委員南山大学（栗山）より、資料（p.16）に基づき、サーバの容量が少しずつ改善されていること、次年度以降委員会構成人数が変更されることについて報告があった。

#### オ．その他（永年勤続表彰制度検討委員会）

永年勤続表彰制度検討委員会委員南山大学（栗山）より、資料（p.17）に基づき、2005年度の表彰を最後にこの制度を廃止すること、今後これに代わる表彰制度などを含め協会の活動を活性化していくことを検討していく必要があること、をまとめた答申を会長校に提出したとの報告があった。

#### （2）東海地区大学図書館協議会関係

東海地区大学図書館協議会運営委員校南山大学（栗山）より、前回常任幹事会以降、研修会の開催の他に特に報告事項はないとの説明があった。

## 2．＜協議事項＞

#### （1）2004年度東海地区協議会事業報告および中間決算（案）について

理事校南山大学（栗山）より、資料（p.33-38）に基づき、事業および中間決算について次のとおり報告が行なわれた。

- 1）収入の部については、3月14日現在賛助会員会費で未入金があり差異がでているが決算の段階では予算どおりとなる予定である。
- 2）支出の部においては、研究会、相互協力委員会、情報化委員会、図書館管理・運営実務責任者会議に対しての活動費を交付金ではなく、支援費として計上し、残額が発生し本会計に戻し入れがある場合、繰越金として入金するように変更した。また事務

費については総会資料の印刷費を総会費ではなく事務費として計上した為、決算では若干の赤字となる予定である。

< 質疑 >

Q：総会資料の印刷費は総会費として計上するべきではないか？

A：決算時の資料においてはそのように変更する。

## ( 2 ) 2004 年度各委員会活動報告および決算（案）について

### ア．東海地区協議会研究会

研究会幹事校中京大学（中河原）より、資料（p.39-42、別紙「館灯」第 43 号目次）に基づき、今年度、第 1～8 回研究会運営委員会、第 1～5 回研究会、研究集会を実施したとの報告が行なわれた。また決算案について、意見交換会の参加者で当日に変更が出た為、収入と支出で差異が生じたとの報告があった。

また今年度発行予定の「館灯」第 43 号について、現在の進捗の報告があり、加盟館名簿の記載について個人情報保護法の観点から扱いをどうするかについて審議の要請があった。

「館灯」の加盟館名簿については検討した結果、今年度については以下の理由により、目的外使用を禁じる注意書きを付けて予定通り掲載することとし、次年度以降については次期幹事会で決定することとした。

理由： 対象としているデータ数が 5,000 人以下であり、個人情報保護法の取扱事業者にはあたらない。

「館灯」第 43 号の発行日付は 2004 年 3 月 31 日付であり、法律の施行（2005 年 4 月）以前である。

今年度の発行に際し、掲載情報の収集の段階で各大学に趣旨を伝え了解を得ている。

### イ．東海地区協議会相互協力委員会

相互協力委員会委員長校金城学院大学（鈴木）より、資料（p.43-47、別紙「次期図書館サービス・システム委員会（仮称）への申し送り事項」）に基づき、委員会活動および決算案について報告が行なわれた。通信費についてはメーリングリストの活用により文書発送を行わなかった為、決算では 0 円となったとの報告があった。

### ウ．東海地区協議会情報化委員会

情報化委員会委員長校愛知大学（三浦）より、資料（別紙「平成 16（2004）年度情報化委員会活動報告」、「2004（平成 16）年度東海地区協議会情報化委員会決算（案）」、「情報化委員会 2004 年度会計内訳」）に基づき、委員会活動および決算案について報告が行なわれた。通信費についてはメーリングリストの活用により文書発送を行わなかった為、決算では 0 円となったとの報告があった。

### エ．東海地区協議会図書館管理・運営実務責任者会議

図書館管理・運営実務責任者会議委員長校南山大学（栗山）より、資料（p.48-49）に基づき、年 2 回の会議および決算案について報告が行なわれた。第 2 回の会議開催を外部会場を使用して実施した為、参加費を徴収した結果、決算の収入・支出に当初予算からの差異が発生したとの補足があった。

### < 質疑 >

Q: 決算資料について各委員会等で形式が統一されておらず、合わせた方が良いのでは？

A: 私立大学図書館協会では東西各役員会では、決算書は収入・支出とも各費目 / 予算額 (A) / 決算額 (B) / 差異 (A - B) / 備考といった形式であり、これに統一するのが良い。また費目明細に関しては、費目毎ではなく、全ての費目を合わせて時系列で記載するようにしてはどうか。またマイナス表記は "- „ ではなく " „ とする。

次年度 4 月開催予定の次回常任幹事会決算資料で上記様式に揃えて作成することを確認した。

#### ( 3 ) 2005 年度東海地区協議会総会について

理事校南山大学 ( 栗山 ) より、資料 ( p.50 ) に基づき、2005 年度総会は名城大学を会場として開催するとの案が説明され、承認された。続いて、2005 年度総会当番校名城大学 ( 飼沼 ) より開催日時は 2005 年 5 月 24 日 ( 火 ) を予定しているとの説明があった。

#### ( 4 ) 2005 年度東海地区研究会事業計画について

2005 年度研究会東海女子大学・東海女子短期大学 ( 児玉 ) より、資料 ( p.51 ) に基づき、次のとおり研究会の事業計画案が説明され、承認された。

1) 「多様な利用者に向けた大学図書館運営の課題」をテーマに、研究会を 4 回、および研究集会を行なう。

#### ( 5 ) 2005 年度東海地区協議会役員校および委員校について

理事校南山大学 ( 栗山 ) より、資料 ( p.52 ) に基づき、2005 年度東海地区協議会役員校および委員校についての説明があった。未決となっている図書館サービス・システム委員会委員については委嘱状発送の関係で各委員の所属大学・氏名について委員長校の金城学院大学 ( 鈴木 ) から次期理事長校の名城大学 ( 飼沼 ) へ連絡することとした。

#### ( 6 ) 2005 年度以降の理事校・当番校について

理事校南山大学 ( 栗山 ) より、資料 ( p.55 ) に基づき、2005 年度以降の理事校・当番校についての説明があった。この中で 2009 / 2010 年度以降の理事校については、次年度総会で決定する必要があるとの説明があった。

#### ( 7 ) 研究会等への嘱託・派遣職員の参加について

理事校南山大学 ( 栗山 ) より、この地区で開催される研究会等に関しては、嘱託・派遣職員の参加を正式に認めてはどうかとの提案があり、これを承認した。ただし派遣職員などが参加する場合の申請は、あくまで所属大学からの参加とし、業者名での参加としないことを確認した。

### 3 . < その他 >

#### ( 1 ) 2005 年度予算案について

理事校南山大学 ( 栗山 ) より、次年度の予算案策定にあたり、次年度理事校が変更されること、また委員会が統合されることを考慮し、事前に方針を決定してはどうかとの提案があり、資料 ( p.53 ) に基づき、2005 年度予算素案について説明があり、これを承認した。

#### ( 2 ) 東海地区協議会および関連団体 2005 年度行事予定表について

理事校南山大学（栗山）より、資料（p.54）に基づき、東海地区協議会および関連団体  
2005年度行事予定について説明があり、確認を行なった。

なお、2005年度第1回常任幹事会について次期理事長校名城大学（飼沼）より下記の日時  
で開催する予定であることの報告があった。

日時：2005年4月13日（水） 14：00～

場所：名城大学

以 上